

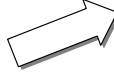
備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	03-01-05-01
事務事業名	給食施設管理運営事業		学校給食法、同施行令
	根拠法令・要綱等		
事業開始年度	平成19年度		教育総務課 庶務係長 草加成章 0869-64-1802
大項目 基本目標	地域文化と人が輝くまちづくり		
中項目 基本施策	未来を支える人材を育むまちづくり		
小項目 施策	学校給食		

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	市内の小学校児童・中学校生徒、教職員(教師、事務職員、調理員)
目的 (何のために)	学校教育の一環として、安全で栄養バランスのとれた学校給食が提供できるよう共同調理場など、給食施設の運営管理を行います。
行政活動 (どのような方法で)	安全で栄養バランスのとれた学校給食を提供するため、各施設で使用する消耗品費、光熱水費、備品整備等の経常経費の支払、人員配置などを行います。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	共同調理場、単独調理場の管理運営費の節減

事業の実績					
活動実績	実施項目		平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	配食児童・生徒数	人	3,418	3,352	3,302
	単独・共同調理場事業費	千円	58,290	40,877	41,130
	光熱水費	千円	17,876	17,716	17,858
	事業費	千円	85,388	86,638	93,356
	人件費	千円	11,910	12,840	14,468
	事業費計		97,298	99,478	107,824
	国県支出金				
	受益者負担				
	一般財源	千円	97,298	99,478	107,824
必要人員	人	3.60	1.55	1.91	
結果指標	結果指標名		平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	共同調理場・単独校配食児童・生徒数	説明	共同調理場・単独校配食児童・生徒数		
	結果指標量	人	3,418	3,352	5,408
	対前年比	%	-	98.1%	161.3%
	活動コスト	円	97,298,000	99,478,000	107,824,000
	単位当たりコスト	円	28,466	29,677	19,938
	共同調理場等光熱水費	説明	共同調理場等光熱水費の児童・生徒一人当たり経費		
	結果指標量	円	5,230	5,285	5,408
	対前年比	%	-	101.1%	102.3%
	活動コスト	円	17,876,346	17,715,850	17,858,470
単位当たりコスト	円	5,230	5,285	5,408	

事業の成果			
成果指標名	児童生徒一人当たりの共同調理場、単独調理場の光熱水費	式又は説明	共同調理場・単独校の光熱水費について、配食児童生徒一人当たりの金額を指標とする。 共同調理場等給食関係光熱水費÷配食数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	5,230	5,285	5,408
対前年比		101.05%	102.33%
到達目標値	前年並み以下		到達目標年度 毎年度



事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)			
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	B		
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識			
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	安全で栄養バランスのとれた学校給食は、心身の健全な発達を助長するもので、望ましい食生活を身につける指導の中核をなすもの。調理場が、食育基本法に基づき、食生活に関する正しい知識の習得や望ましい食習慣を身につける「食育」における果たす役割の検討が必要である。			
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している				
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある				
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない				
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない				
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である				
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である			効率性評価<A-E>	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい			課題認識	
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である			安全で安心できる給食の提供には、適宜適切な施設整備や施設維持管理を行うことが重要であるが、厳しい財政状況のため緊急性の高いものから整備せざるを得ない状況である。調理業務の民間委託については、食育における調理場職員の果たす役割や施設運営の効率化の観点からさらなる検討が必要。	
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい				
手	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい				
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難				
職	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある				
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない				
目的達成度	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている	有効性評価<A-E>	C		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	課題認識			
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	安全で安心な給食の提供のため、献立の研究、研修の充実を図る中でそれらを実現できる施設管理を推進する。			
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている				
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい				
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである				
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである				
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある				
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している				
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している				
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している				
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている				

平成20年度の状況		説明	管理運営経費の節減に努める。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 共同調理場・単独校配食児童・生徒数	結果指標量 児童・生徒一人当たり共同調理場等光熱水費	前年度並み以下

総合評価		評価区分 <A-E>	B
厳しい財政状況の中で、統廃合による調理場整備計画に基づく整備が停滞しているが、施設の老朽化が著しく、早急な調理場整備事業の着手が必要である。			

平成21年度以降の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	備前中学校調理場の整備により、片上小学校の調理場を廃止する。	平成21年度以降	調理場の統廃合により畏敬費の節減につながる。